

中学校の社会科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の社会の平均点は、54.9点

正答率が高かった問題は歴史的分野に関する問題です。
小問別では、基本的な知識に加え、地図や統計などの各種の資料を読み取る技能の定着が図られています！



正答率^()の低かった問題を見てみましょう！

< 地理的分野 > では...

モンゴルの正しい雨温図を4つのグラフから判断する問題が、42.9%

基礎的な知識や技能が不足

資料からインドと判断した理由について説明する問題が、45.8%

複数の資料を関連付け、多面的・多角的に考察・判断し説明する力が不足

様々な資料を手がかりに、世界の人々の生活や環境の多様性、生活と宗教のかかわりを含めた地域的特色を考察し、その根拠を自分の言葉で説明したり、意見交換したりするなどの活動を多く取り入れましょう！

< 歴史的分野 > では...

「御伽草子」が作成された時代の特色を判断する問題が、29.6%

各時代の伝統や文化の特色を大きくとらえ、理解する力が不足

多くの歴史的事象を個別に説明するだけの学習ではなく、その時代全体の特色について、生徒に時代のイメージを大観させたり、他の時代との違いについて考察し、表現させたりする活動を多く取り入れましょう！

< 公民的分野 > では...

資料を活用して市町村合併が進んだ理由を財政面から考察して、説明する問題が、26.0%

現代の社会的事象が持っている多様な側面について資料を基に考察し、説明する力が不足

現代社会をとらえる見方や考え方を活用し、具体的・体験的事例を考察する場面を授業の中でも取り入れましょう！

< 3分野融合 > では...

投票率低下の問題点を、資料を基に考察して、説明する問題が、27.0%

我が国の現代の特色をとらえる力が不足

身近で具体的な事例を通じて政治に対する関心を高めさせ、近い将来、主権者として政治に参加することの意義について考察する活動を取り入れましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！

各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！

詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

()正答率については、合格者5,037人の中から、無作為に抽出した650人(12.9%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点			正答率
				記号選択	用語記述	記述	知識理解	思考判断表現	資料活用技能	
1	1	(1)	本初子午線の通過する位置について理解している。							65.4
		(2)	モンゴルの伝統的な住居の写真から、雨温図を判断することができる。							42.9
		(3)	原油の産出量に関する統計資料を、どの主題図で表現するのが適しているか判断することができる。							70.8
		(4)	アメリカと日本の国土面積と経済水域を比較して、日本の経済水域の特徴を説明することができる。							記78.0 理41.4
		(5)	牛肉と砂糖の消費量に関する2つの資料から、インドの宗教と人口について資料を多角的に考察することができる。							記81.4 理45.8
	2	(1)	東北地方の位置について理解している。							91.4
		(2)	資料から第二次産業が発展している市町村を判断することができる。							54.8
		(3)	北陸地方で伝統工業が発展した理由を、冬の気候の特徴を関連付けて説明することができる。							43.1
		(4)	外国人宿泊客数の推移についての資料を読み取ることができる。							78.7
		(5)	再生可能エネルギーの一つであるバイオマス発電について資料を基に考察し、説明することができる。							59.9
2	1	(1)	甲骨文字について理解している。							76.8
		(2)	律令国家のもとでの人々の暮らしについて、資料を基に考察し、説明することができる。							67.0
		(3)	藤原氏による摂関政治について理解している。							A 82.4 B 86.1
		(4)	室町時代の文化について理解している。							29.6
		(5)	貨幣経済にともなってみられた農村の変化について、資料を基に考察し、説明することができる。							アイ 56.6
	2	(1)	城下町について、資料を基に考察し、判断することができる。							61.1
		(2)	富国強兵について、資料を基に考察し、判断することができる。							81.5
		(3)	ワシントン条約の内容を資料から判断することができる。							54.4
		(4)	広島市の歩みについて、戦前と戦後を比較し、資料を基に考察し、説明することができる。							55.7
		(5)	第2次世界大戦後の冷戦について、朝鮮半島の構図を示した資料を基に考察し、説明することができる。							41.8
3	1	(1)	天皇の地位について理解している。							75.1
		(2)	公共の福祉について具体的事例を通して理解している。							56.3
		(3)	平等権について、女性の労働に関する資料を基に考察し、説明することができる。							ア73.5 イ52.3
		(4)	司法権の独立について、具体的事例を通して理解している。							78.0
		(5)	市町村合併の背景について、資料を基に考察し、説明することができる。							26.0
	2	(1)	公共衛生について理解している。							49.8
		(2)	日本の現代企業について、具体的事例を通して理解している。							61.1
		(3)	銀行の利益について理解している。							81.5
		(4)	日本銀行の金融政策について、資料を基に考察し、説明することができる。							ア61.1 イ43.0
		(5)	情報化と商業について、資料を基に考察し、説明することができる。							65.1
4	(1)	日本の位置について理解している。							54.5	
	(2)	日本との貿易および地域経済圏について、資料を基に考察し、判断することができる。							45.1	
	(3)	15世紀末ごろヨーロッパ人がアジアに來航した理由について、資料を基に考察し、判断することができる。							58.4	
	(4)	投票率の低下の問題について、資料を基に考察し、論述することができる。							27.0	